



ライドトゥファン スタンドアップパドル(SUP) 大台町



ひたすら川の上を楽しむライドトゥファンの旅へ出発!

まずは、2015年7月から大台町でスタートしたハワイ生まれのニュースポーツ・スタンドアップパドルを体験。

さてどうなりますことやら…。

新しいウォーターアクティビティ登場

新しいウォータースポーツとして注目されているSUP(サップ)を知ってますか?SUPとは、「スタンドアップパドル」の略で、大きなボードの上に立ち、パドル(※)を漕いで進む遊びのこと。大台町のアウトドアプログラムVerde(ヴェルデ)では、そのSUPが清流宮川で体験できるとあって、ウワサを聞きつけた人たちが早速やってきていた。伊勢から来たという父娘は、「柿がりの娘に何でも挑戦させてみたくて」とタンデム(2人乗り)で初挑戦。四日市から来たという女性2人組もなんか楽しそうだからと参加したそう。そして、3月からSUPを始めたというアシスタント?小学生のケンちゃんもマイボードで参加。



※パドル…船を漕ぐときに使う一本の櫂

清流宮川の魅力を味わえるSUP

その中に、天海祐希ばりにカッコいい女性がいた。

彼女は大台町観光協会・野田さん。ハワイ生まれのニュースポーツとして日本でも注目されはじめていたSUPを大台町に持ち込んだ人物で、その魅力を伝えるインストラクターとしても活躍している。

「大台町のSUPは、宮川ダム湖を活用するためにはじまりました。大台町の良さは、宮川をはじめとする豊かな自然があるところ。その自然を多くの人に楽しんでもらえることは何だろうか、と考えSUPを導入したのです」

…確かにSUPは、サーフィンとは違って、誰でも最初からボードの上に立つことができる。安定感のある発泡スチロールの上に乗っているような感じなので、あまり落ちることはない。

しかも、ここはダム湖だけに、湖面も穏やかでとっても安全だ。

「そうなんです、だから水辺の遊びといっても、夏だけでなくオールシーズンで遊べるんですよ」



ライドトゥファン SUP/カヤック

視点が違うと気分も世界も変わる♪

このボードのおかげで、自在に水面を移動でき、いつもと違った世界を見ることが出来る。ダム湖は、岸から眺めているのとは違い、思いのほか広かった。アメンボになったかのように、スイスイと湖面を滑っていく。ケンちゃんにいたっては、自分から川に飛び込んだり、ボードの上を軽やかに移動したり実に自由な遊び方。慣れてくれば、水上散歩だけでなく、もっともっとうろろと遊べそう(実際、SUPボードの上でヨガをしたり、犬と一緒に乗ったり、いろんな楽しみがあるようデス)。

慣れれば慣れるほど、みんなの顔付きが変わってくるのがわかる。できるかどうか不安そうだった顔が、今じゃ打って変わって満面の笑顔だ。

岸で見ている人たちに手を振ったり、参加者同士並走して話に花を咲かせたり。楽しいなあー!

しかし、せっかくの体験だったのに、カメラを持ってくるのを忘れてしまった。面白い写真が撮れそうだったのに残念無念…。

みなさんは、首からかけるタイプのケースに携帯電話やカメラを入れて、持っていくことをぜひともオススメします(ただし落とさないように注意!)



ツーリングへしゅっぱーつ!

休憩のため岸に戻ってきたタンデム親子の娘さんは、「もっと乗りたい!」と興奮気味。お父さんもそれを見てうれしそう。参加者それぞれの満足そうな笑顔を確認して、「今度は、みんなで探検に出かけましょう」とニコリする野田さん。「ダム湖よりもぐっと川幅が狭くなって、水もきれいなところへ行きます。すっごく楽しいですよ!」よっしゃ、いくぞー!…さて、ここから先は詳細は記さずにおきましょう。何故って…?この先は、あなた自身が体験してほしいから。やってみなくちゃ、この面白さはわかりませんよ!!

ライドトゥファン カヤック 大紀町



ただ浮かんでるだけよりも、どんどん進んでいくのが楽しい。

山と川が迫ってくる景色に見とれながら、あくまで自分のペースで、流れていく。

今度はカヤックで宮川と一体になろう。

いざカヤックの旅に出かけよう！

お次は、大紀町の宿泊施設「語らいの里 嘶野(はなしの)」の伊藤さんに、宮川の支流・大内山川でカヤックを体験させていただいた。カヤックとは、左右にブレード(パドルの端についた水かき)がついたダブル・ブレードパドルを使用するカヌーのこと。艇は、シットオントップ型といて、よほどのことがなければ転覆せず簡単に乗れるタイプのもの。全くの初心者でも、パドルの動かし方さえ覚えれば、特に恐れることなく乗船することができる。



艇に乗り込むと、笑顔の伊藤さんに「それでは、カヤックの旅に行っちゃーい」と押し出された。不思議なもので、その一言で、これからこの舟で旅に出るんだと気分が高揚。艇はスイーツと静かに川面を滑っていく。…よっしゃ、探検に出かけるぞ！



忙しい毎日をしばし忘れて自然と一体化

漕ぐうちに、これは要するにクロールの要領でパドルを漕げばいいということがわかってきた。艇を自分の体、パドルを腕から手のひらだと考えると、おのずとどこにパドルの先を持ってくることがわかってくる。力を入れずに、スイーツスイーツ。ま、どうやっても漕いでりゃ進むので、難しく考えずとにかく行くべし。しばらくすると、伊藤さんから「疲れたら、休憩しながら(パドルしないで)でもいいんですよ」と言われたので、パドルをやめて、ただ浮かぶのを楽しんでみた。

あつ、意外と川底は深いんだ。ここは、とにかく水がキレイで、かなり深いとみられるところまで透けて見える。鮎の群れが通り過ぎていき、ひとすじの風に林の中の木々がざわざわと揺れた。…静かだ。日常はいつもガヤガヤとうるさく、しかもいろんなことに追われてばかり。それなのに、ここでは自然と一体化して、ゆったりと時間の流れるのを感じた。すべてから解き放たれて、流れに身をゆだねる…身体に力が入りつぱなしの今、その経験がとても貴重だ。悲しいかな忙しい生活に慣れ過ぎて、力の抜き方を知らなかった。たまには息抜きしないとね。…



肩こりとストレスが解消してサイコー！

終わってみて、ヒトコト言うなら…カヤック、いいですよ。本当に。終わった後、とてもみずみずしい気持ちになれるから。そしてもう一つよかったこと。パソコンをいじりすぎて慢性的となっていた肩こりが解消されました(しかも筋肉痛にはならなかった)。カヤックはココロとからだのコリ、ほぐします。今度はあなたもぜひどうぞ。



ライドトゥファン SUP/カヤック

写真で紡ぐたび



<SUP>

さくら公園駐車場から清流宮川へライドオン!ボードは寝そべることができるくらい大きくて分厚いので安心。



<SUP>

ドボンしても大丈夫、頼もしいインストラクターが駆けつけてくれます。でもたいていは、自分のチカラで何とかできますよ。



<カヤック>

どうぞこの自然!カヌーをすれば、この美しい景色をひとりじめできますよ。何といってもゆったりできるのがサイコーです。



<カヤック>

インストラクターの伊藤さんは宿泊施設「語らいの里 嘶野」の経営者&林業のプロ。「語らいの里 嘶野」はコテージ、BBQ、天然プール、温泉まで完備しており、カヤックの他、林業体験なども行っている。



コンシェルジュからのおすすめのポイント！



大台町・大紀町は、緑豊かな自然フィールドの宝庫です。緑深いダム湖の四季折々の景色を、SUPやカヤックを通して楽しんでください。春はお花見、夏は水に入っの川遊び、秋には紅葉、冬は澄んだ景色のなかエクササイズとしてのSUPやカヤック。そして、雨の多い町の特徴を活かした雨の日でもダム湖の景色を満喫できます。アクティビティーそのものの魅力とともに、ここにしかない自然風景と人の魅力をぜひ楽しんでください。私自身、その魅力に惹かれて他県からこの地に移住してきたので、本当にオススメです。ガイドやお客様同士の温かい交流もイベントに参加する醍醐味です。みなさんにお会いできることを楽しみにしています。



コンシェルジュ
大台町観光協会 野田さん



スポット概要

Verde(ヴェルデ)(SUP)



- 住所：多気郡大台町佐原663-1
- 営業時間：8:30~17:15(要確認・要予約)
- 休業日等：年末年始
- 料金・アクセス・駐車場：各体験プログラムにより異なるためウェブサイトをご確認ください。

語らいの里 嘶野



- 住所：度会郡大紀町滝原1278
- 営業時間：予約受付:8:00~21:00
- 休業日等：年末年始
- 料金・アクセス・駐車場：ウェブサイトをご確認ください。



このStoryを
スマートフォンで
ご覧いただくことが
できます。

Storyで紡ぐたび ~もののあはれ中南勢ものがり~

<http://story.kankomie.or.jp/>